

## 微生物の同定

### －細菌，酵母，カビの同定－

弊財団では、微生物の学名(又は菌群)を調べる同定試験を受託しております。

製品や原料、製造環境などから微生物を検出された経験のある方も多いと思います。意図しない微生物が検出された場合、検出された微生物は『どんな微生物なのか』、『どんな性質か』、『安全かそれとも有害か』などの問題が生じます。異常品検査においても、微生物の増殖が原因であった場合、その原因菌に対しても同様の問題が生じます。『微生物の同定試験』は分類学上の名前(学名)を確認し、そこから得られる情報を基に、これらの問題を解決する為の手段として有効に利用できます。

以下に試験項目についてご案内致します。

#### ■検体の種類

菌株(純化した菌株、測定培地上の集落等)、異常品(食品、飲料水、ペットフード、日用品等)やその原材料など様々な検体で受託しております。

ただし、臨床検体からの微生物、キノコの同定はお受けしておりません。特殊環境中の微生物の受託についてはお問い合わせ下さい。

#### ■試験項目及び料金

試験項目*1	同定のランク*2	単位	単価(税別)*3	試験内容等
細菌の同定	菌群	1 検体	¥20,000- →¥30,000(2026.04より)	基本的な性状試験による好気性芽胞菌、乳酸桿菌、腸内細菌といった大まかなグループ(菌群)までの試験
	属及び種	1 種類	¥86,000- →¥90,000(2026.04より)	基本的な性状試験及び塩基配列の解析(16S rDNAの上流側の約500bp)による近縁菌の検索
酵母の同定	属及び種	1 種類	¥40,000- →¥50,000(2026.04より)	塩基配列の解析(LSU rDNAのD2領域)による近縁菌の検索
カビの同定*4	属	1 種類	¥50,000-	集落性状・形態等の観察を基にした試験
	属及び種	1 種類	¥110,000- →¥150,000(2026.04より)	集落性状・形態等の観察及び塩基配列の解析による近縁菌の検索

\*1 細菌、酵母、カビのいずれかとはっきりしていない場合は試験項目名『微生物の同定』でご依頼下さい。

\*2 ご依頼時にご希望がある場合はお知らせ下さい。菌株の生育状況等により同定不能となる場合があります。また、複数種類が同定結果候補に挙がる場合があります。

\*3 検体が寒天培地以外の場合(液体培地や商品形態など)は、検体からの微生物の分離操作代として上記料金の¥5,000-→¥10,000(2026.04より)が加算されます(一部例外有り)。また、試験内容によっては料金が変動する場合があります。培養に時間を要するため、至急はお受けしていません。

\*4 カビフローラの試験項目もあります。詳細はカビフローラの簡易検査をご覧ください。

## ■試験期間

培養に時間を要するため至急ではお受けしていません。速やかに試験を着手し、まずは受託後1～2週間で結果速報もしくは試験の進捗状況をご連絡致します。

結果速報の目安(検体数, 菌株の分離状況や生育状況により試験期間は変動する可能性があります。)

- ①細菌の同定(菌群), カビの同定(属), 酵母の同定 ⇒ 受託後1～2週間
- ②細菌の同定(種), カビの同定(種) ⇒ ①確定後2～3週間

## ■結果報告

報告書形式でご報告します。すべての項目で同定された菌名の解説を記載します。文献調査により記載があれば、分離報告例, 毒素産生性, 病原性, 耐熱性などの情報も記載致します。ただし, 菌名によっては情報が少ない場合もあります。なお, 正式な報告書発行前に, お客様に原稿をお送りして内容をご確認頂きます。

弊財団の微生物の同定試験は, 菌株から試験を実施するのみだけではなく, ご依頼頂いた衛生試験(一般細菌数, 酵母数, カビ数等)で検出された微生物, 落下菌や空中浮遊菌測定平板上の集落, 製品・原材料等からの分離操作を含めた同定試験, 事故品・異常品からの分離・同定といったメニューまで微生物が分離可能なものであれば様々な状況に対応致します。また, 受託後, 試験担当者から試験状況のご連絡, 試験の進め方のご相談をさせて頂きながら進めていくスタイルをとっております。

試験をご依頼頂くにあたっての事前のご相談やご不明な点がございましたら, どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

### <お問い合わせ先>

一般財団法人日本食品分析センター

多摩研究所 微生物部 微生物研究課

TEL : 042-372-6785 FAX : 042-372-6786